

社会活動 基本目標 対等な社会参加で元気な地域づくりをめざして

基本施策① 政策や方針決定過程への女性の登用を進め活動を支援します

現 状 と 課 題

男女がともにその個性と能力を十分に発揮し、いきいきと自分らしく暮らせる社会の実現のためには、いろいろな考え方を活かしていくことが大切であり、意思決定過程への女性の参画拡大を図ることが求められています。

本市における各種審議会等での女性委員の割合は、平成22年4月の段階で24.5%、市議会議員は6.7%、農業委員は10.4%と方針や政策を決定する場での女性の割合がまだまだ少ない状況です。

方針や政策を決定する場への女性の参画が低い原因の一つに、これまでの慣習による固定的な性別役割分担意識*から、女性が社会に出ることに対し、「周囲の理解や協力が得られない場合が多い」ほか、「その領域に登用されうる女性人材の絶対数が不足していること」、「職務指定が女性の登用を困難にしていること」などが挙げられます。そのため、「公募の活用」、「人材の育成」に努めるほか、女性委員の登用推進を阻害するような職務指定が見受けられる場合は「各審議会等の性格や状況を踏まえて当該条項の見直しをすること」などが必要となります。

施策の方向・内容

- ア. 各種審議会委員等に女性を積極的に登用し支援します
- イ. 政治への参画意識の高揚に努めます

行 動 計 画

施策の内容と行動計画		主な担当部署	取組状況
ア. 各種審議会委員等に女性を積極的に登用し支援します			
*	各種審議会委員の女性比率目標を40%とする	すべての部署	継続
*	行政委員会の女性比率目標を20%とする	すべての部署	継続
	各種審議会等における委員の選出方法の見直しを図り、女性の参画を推進	男女共同参画・市民協働推進室 すべての部署	新規
	女性委員に対する研修会等への参加促進	すべての部署	継続
イ. 政治への参画意識の高揚に努めます			
	女性リーダー養成のための先進事例や研修会情報の提供	男女共同参画・市民協働推進室 生涯学習課	継続
	女性が活躍している団体リストの作成と、団体間交流、ネットワーク化の促進	男女共同参画・市民協働推進室	継続
	明るい選挙推進協議会との連携で政治参画を促す選挙啓発の実施	選挙管理委員会	修正
*	国・県・関係機関が開催する人材養成セミナー等の情報提供と参加促進	男女共同参画・市民協働推進室	継続
	地域における団体等の方針決定の場への女性の参画を促進	男女共同参画・市民協働推進室 地域振興課	修正
	女性の人材リストの作成と活用	男女共同参画・市民協働推進室 総務課	新規

男女共同参画指標	担当部署	現状値 (平成21年度)	目標値 (平成27年度)
各種審議会委員の女性比率	すべての部署	22.1%	40%
行政委員会の女性比率	すべての部署	6.6%	20%
女性の人材リストの作成と活用	男女共同参画・市民協働推進室 総務課	未実施	作成

基本施策② 自分らしさを発揮できる社会活動の場を提供します

現 状 と 課 題

市民一人ひとりが自分らしく生活を楽しむことができ、人間性豊かな社会を実現するためには、趣味やボランティアなどの地域活動への参加も大切です。しかし、ライフスタイルやニーズの多様化などにより、特に若い世代の参加者が少なかったり活動内容により男女の役割が固定されたりしているなど、市民一人ひとりが地域の一員としてその能力が十分発揮できる状況になっているとはいえません。

また、学校支援ボランティアへの登録者や介護ボランティア養成講座の受講者は、多くなっておりますが、地域で活動するボランティア団体や福祉関係団体等とのつながりは少ない状況であり、各団体間のつながり・ネットワークづくりの強化と活動情報の提供や活動支援の充実が求められています。

施策の方向・内容

- ア. ボランティア意識の高揚を図り、ボランティア団体の育成・充実を支援します
- イ. 社会活動への参加促進のために情報を積極的に提供します



行 動 計 画

施策の内容と行動計画		主な担当部署	取組状況
ア. ボランティア意識の高揚を図り、ボランティア団体の育成・充実に支援します			
生涯学習バンク（よこて学びバンク）のより一層の周知と活用	生涯学習課		修正
中学校等における、ボランティア活動や国際交流活動などの体験的活動の増進	経営企画課 社会福祉課 地域包括支援センター 生涯学習課		修正
ボランティア意識や知識、技術の修得のための育成講座の開催	経営企画課 社会福祉課 地域包括支援センター 生涯学習課		継続
<u>傾聴ボランティア</u> *養成講座の開催とその活用	経営企画課 社会福祉課 生涯学習課		新規
ボランティア活動情報の積極的な提供	経営企画課 社会福祉課 生涯学習課		継続
ジュニアリーダー*の周知と参加促進	経営企画課 社会福祉課 生涯学習課		新規
<u>ボランティアコーディネーター</u> *の育成とボランティアの派遣調整	危機管理室		修正
学校支援ボランティアの積極的活用	経営企画課 社会福祉課 生涯学習課		新規
イ. 社会活動への参加促進のために情報を積極的に提供します			
県の「学びサポートあきた」等を活用した情報提供	生涯学習課		修正
生涯学習奨励員等に対する研修機会の充実	生涯学習課		継続
社会活動への参加対象者に応じた時間帯、場所の設定	すべての部署		継続
* 各種行事での託児の実施	すべての部署		継続

※傾聴ボランティア：傾聴ボランティアは福祉施設や自宅を訪問して、相手との信頼関係を前提に、話を否定することなく、じっくり聴く技術を身につけたボランティア。特別な資格は必要ないが（養成講座有）、単に話を聴くだけでなく、五感を使って思いやりの心で話し手の話を一所懸命聴き、人を理解することが求められる。

※ボランティアコーディネーター：「ボランティア活動を行いたい」という意志を持つ人や社会組織のニーズ（ボランティア・ニーズ）と、「ボランティア活動の支援を求めたい」人や社会組織のニーズ（社会ニーズ）の間にあって、それぞれのニーズが充足されるために必要な支援等を行う“触媒”としての役割を果たす専門的スタッフ。

男女共同参画指標	担当部署	現状値 (平成21年度)	目標値 (平成27年度)
生涯学習バンク（よこて学びバンク）登録者数及び登録団体数	生涯学習課	112人 136団体	200人 200団体
ジュニアリーダー*人数	生涯学習課	17人	50人
ボランティアコーディネーター*数	危機管理室	6人	10人
学校支援ボランティア登録者数	経営企画課 社会福祉課 生涯学習課	651人	1,000人
生涯学習奨励員等に対する研修機会の回数	生涯学習課	3回/年	5回/年

基本施策③ 男女ともに参加しやすい地域活動を推進します

現 状 と 課 題

三世代交流事業の実施など性別や年代を越えて住民相互の交流を深めている地域もありますが、多くの地区の地域活動では、性別・世代の偏りがあり、身近なところから住民参画できる事業の実施が求められているとともに、住民同志の交流や世代間の交流が必要となっています。

また、PTA、自治会・町内会、消防団等の活動では、女性の参画の機会はあるものの、役員・団員への就任は限定的で、男女とも地域の中で色々な活動に参加しやすい環境の整備が求められております。

防災の分野や自然環境の保全などの環境分野では、女性を含めた地域対応力が求められることから、女性の視点に立った防災活動や環境活動についても推進しなければなりません。

施策の方向・内容

- ア．若い世代のリーダーを育成し、男女がともに参画できる体制作りに努めます
- イ．活動内容により固定化している男女の役割を見直します
- ウ．地域の防災・環境問題に取り組みます



行 動 計 画

施策の内容と行動計画		主な担当部署	取組状況
ア. 若い世代のリーダーを育成し、男女がともに参画できる体制作りに努めます			
若い世代のリーダー養成研修の開催	生涯学習課		修正
地域活動への青少年の参加拡大	生涯学習課		継続
イ. 活動内容により固定化している男女の役割を見直します			
男女共同参画に関するパンフレットを作成し、各種講座等で活用	男女共同参画・市民協働推進室		修正
地区会議や町内会等での学習機会の提供	男女共同参画・市民協働推進室 地域振興課		修正
地域活動への参加対象者に応じた時間帯、場所の設定	すべての部署		継続
PTA 活動への男性の参加と役員への女性の就任を促進	生涯学習課		継続
性別、世代を越えた地域活動の推進	生涯学習課 地域振興課		継続
地域活動情報の積極的な提供	市長公室 地域振興課		継続
ウ. 地域の防災・環境問題に取り組めます			
防災分野における政策・方針決定過程へ女性の参画拡大	総務課 危機管理室		新規
地域での防災や消防の取り組みに女性の力の活用	総務課 危機管理室		新規
女性の視点を取り入れた防災・復興の体制整備	総務課 危機管理室		新規
男女共同参画の視点を反映した防災訓練を各地域で実施	総務課 危機管理室		新規
男女共同参画の視点が反映された環境保全活動の実施	環境課		新規
男女共同参画の視点を踏まえ、環境保全活動を行っている地域の団体との連携の推進	環境課		新規

男女共同参画指標	担当部署	現状値 (平成 21 年度)	目標値 (平成 27 年度)
若い世代のリーダー養成研修の回数	生涯学習課	1 回／年	3 回／年